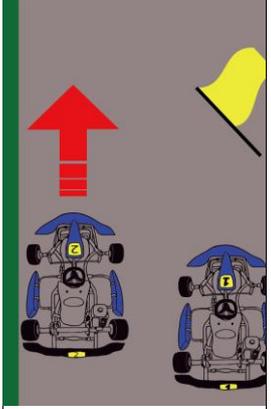
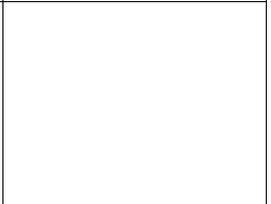


反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p>R1 フラッグ無視</p>	<p>コースオフィシャルや競技委員から提示された旗に従わないことをフラッグ無視とします。 これは旗の種類、従わなかった理由、利益を得たか否かにかかわらず適用されます。</p> <p>一般的な違反は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 黄旗、黄 LED 区間での前車追い越しや減速せずに追い越しをかける行為 2. オレンジボール旗、黒旗、他の旗等の提示を無視し、レースを続ける行為 3. 青旗の振動に対しラインを譲らない 4. 白黒旗の提示を受けても、その警告行為を直さない。 5. 白地に赤×ボードの無視や、青、赤旗の無視 6. その他 <p>※ドライバーは必ずドライバーサインを出さなくてはなりません。</p> <p>※黄旗、その他の提示旗や黄 LED を無視した場合や減速違反も対象です。</p>		<p>旗無視;注意または警告 旗の指示を無視しレースを継続した場合; 失格</p> <p>公式練習中のフラッグ無視の場合、TT 成績に対し、0.25~1秒加算</p> <p>タイムトライアル中の、違反に対しては、成績に0.25~1秒加算。またはベストタイム(1~3)成績の抹消の場合もあり</p> <p>黄旗無視での追い越しは状況によって秒加算や1周減算 または、1~10ポジションダウン</p>
<p>R2 白黒旗</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ローリング隊列を乱すような行為には積極的に白黒旗が提示されます。 その対象者はスタート後の白黒旗と累積になることはありませんが、スタート後に白黒旗を受けるような行為を2回繰り返した場合、黒旗が提示され競技長の元に出頭し確認後に競技裁定となります。 また、白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません。 2. 危険な行為、事故を招くような行為には積極的に白黒旗が提示されます。 再度、その行為が繰り返された場合、白黒旗が累積2回となり黒旗が提示され、対象者は競技長の元に出頭し確認後に競技裁定となります。 白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません。 		<p>白黒旗、1回目は警告</p> <p>同一ヒート累積2回目はヒート失格の場合あり</p> <p>ただし、スタートを切る前の白黒旗は累積にカウントしません</p>

<p>R3 チェッカー旗 および ダブルチェッカー</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. チェッカー旗を受けたが安全なスピードまで落とさない場合や前車を追い越した場合 2. チェッカー旗を受けレース終了となったにもかかわらず、再度コントロールラインを通過しチェッカー旗を2回受けた場合 3. チェッカー旗を受けたあと減速せずにスピニングやコースアウト等をし、レースの進行を遅らせた場合 		<p>前車追い越し、スピードを落とさない行為やダブルチェッカーは嚴重警告</p> <p>または0.25秒～10秒加算</p> <p>タイムトライアル時は、ベストタイム抹消</p> <p>または、規則書に準じたヒート失格</p>
<p>R4 車両違反 および 服装違反</p>	<p>車両規定に定められた全ての部品を装着していなかった場合や脱落した場合、また、下記のような案件の場合を車両違反とします。レース前、レース中、レース後、発生する時期は問いません。同様に利益が有るか無いかも問いません。ヒート後の車検時の状態を判断の基準とします。</p> <p>一般的な違反は以下のものです</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 規定重量不足 2. 車両の改造や違反加工、間違った寸法や違反部品の使用等 3. 規定外燃料の使用、指定外オイルの使用、クーラント使用、その他... 4. タイヤへの加工、薬品の塗布など 5. エンジンやキャブ、その他の車両構成部品に指定されている部品、品番指定部品、指定寸法以外での組付け状態で、競技に参加し使用している場合 6. オレンジボール旗の対象になる不具合や装備品の脱落が発生し、車両を修復出来ない状態でレースを終えた場合 7. ドライバーの安全装備の不具合や脱落 8. 吸気、排気装置のトラブルや脱落があってもレースを止めなかった場合 <p>※この場合、安全上問題があると判断した場合その限りではありません。競技長の判断で競技から排除する場合があります</p>		<p>車両不具合、部品脱落、安全装備違反等は成績に0.25秒～60秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p> <p>または、規則書に準じたヒート失格</p> <p>※吸気、排気装置のトラブルや脱落があり、競技を止めた場合 ↓ 競技 DNF</p> <p>安全上問題があると判断した⇒オレンジボール旗の提示もありうる</p> <p>※競技を止めない場合 ↓ 黒旗にて競技裁定</p>
<p>R5 ローリング隊列違反 および ヒーター行為</p>	<p>ローリング隊列のスピードを著しく乱す行為やローリング中の隊列を守れない走行、他車と接触しそうな激しいヒーター行為やプッシング等によって競技進行を遅延させた場合。ホームストレートの誘導白線(コリドー)からのみ出しも隊列違反です。</p> <p>先頭左右2台は隊列を守りスピードを整える義務</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合 赤旗後に最後列へポジションダウン</p> <p>または、成績に0.25～10秒加算</p>

があります。
SLOW ボードや **KEEP** ボードを確認しなくてはなりません。
 この義務を**怠った場合**ペナルティの対象となります。
 注1) ヒーティング行為のペナルティは、2列の隊列を形成した時点から対象となります。2列になる前のウォームアップ走行中のヒーティング行為は認めますが、危険とみなされる走行行為に対しては、ペナルティが課せられます。
 注2) 練習走行やタイムトライアル中も対象です。

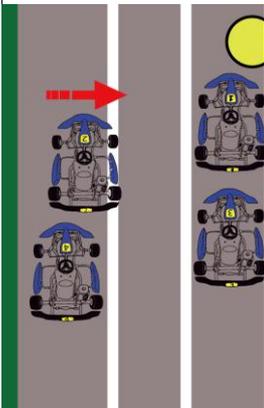
または、1～10ポジションダウン

R6
スタート隊列違反
 (コリドー違反)
 および
スタートディレイの赤旗起因

スタート合図が出る前、2番のカートのようにコリドー白線からカートのタイヤがラインからはみ出し、追い抜きの行為を早く始めることを**スタート隊列違反**とします。※フライングスタートともいう
 2番のカートのタイヤが、単にラインに触れたり、ラインを踏む程度は違反と判断しません。また、スタートが切られるタイミングを計り、いち早く2列から抜け出そうとする行為は審議の対象となります。

軽度⇒警告や白黒旗提示

2輪以上がコリドー白



線を超えはみ出した場合⇒3秒加算

危険回避として、前方のカートが失速(前々車との間隔が1台以上開く場合)した場合、前車との衝突を避けるため誘導白線からはみ出す行為や車両トラブルで速度が上がらないカートを追い越す行為は認められます。

4輪以上がコリドー白線を超えはみ出した場合⇒10秒加算

『赤旗起因』スタート前のローリング隊列走行中、単なるドライバーの運転ミスや車両トラブルによって競技を継続できないような原因を発生させ、**赤旗によってスタートを遅延させた場合**、その対象ドライバーは、再スタートの際、最後列に下がるものとします。また、対象ドライバーが複数の場合、基本的にスタート順はゼッケンナンバー順とします。(変更の場合あり)

悪質な場合は審議の上、当該ヒート失格または1～10ポジションダウン

赤旗起因車両は、最後尾からの再スタートただし、対象台数によっては、アウト・インが入れ替わる場合もあり

R7
ポジション復帰禁止エリアでの復帰

ローリング走行中、ポジション復帰禁止エリア(最終コーナーパイロン)に入ってから2番のカートのようにローリング中のカートを追抜き、自分のポジションに復帰した場合。

基本ヒート失格

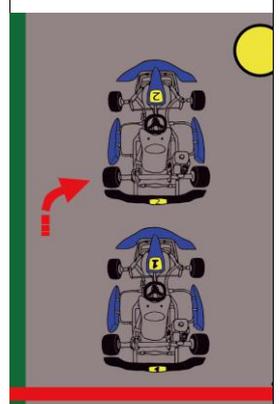
※ドライバーマナーとして元のポジションに戻る場合には、しっかり手を挙げ、他車にアピールし安全に復帰することを心がけてください。

強引に入り込んだり、隊列を大きく乱したり、事故を招いた場合、危険行為と判断されます。また、ポジションを空けない行為はペナルティの対象とします。

注意;前方のカートが車両トラブルで加速出来ないと判断した場合、その車両を抜いてもペナルティにはなりません。

＜ローリングの隊列に大きく遅れた場合＞
対象ドライバーに白地に赤×印のポジション復帰禁止ボードをゼッケンナンバーと提示します。提示されたドライバーはローリングの最後尾へ付かなければなりません。ミススタートや赤旗による再スタートの場合でも、ポジションを戻すことはありません。

または、成績に1～10



秒加算

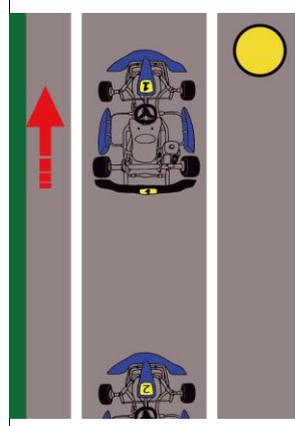
または、1～10ポジションダウン

R8
ジャンプスタート

下記項目をジャンプスタートとします。

1. スタートが切られる直前に1番のカートがアクセルを大きく踏みこみ、1番のカートと2番のkartの間にかート1台分以上間隔が開くような行為や2番のkartが前車との間に大きなギャップを空ける行為の場合。
2. リタイア等によって前方のkartがない場合の空席グリッドが確保されず、グリッド位置が前方につめられている場合。
3. スタートする前に自発的にスタートポジションを上げた場合。

※1番のkartが元の位置に戻った場合やスタートが切られなかった場合は、ジャンプスタートとみなしません。



軽度⇒警告や白黒旗提示

または、成績に1～10秒加算

または、1～10ポジションダウン

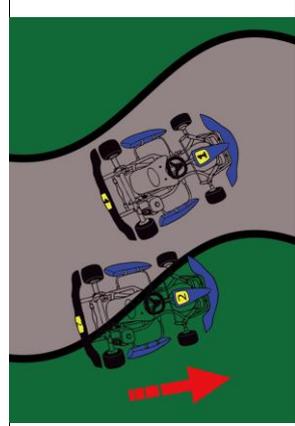
R9
ショートカット

2番のkartのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することをショートカットとします。

ペナルティの判断

1. 2番のkartが順位を上げるか、その周回タイムが明らかに速かった場合
2. 1番のkartまたは、その他のkartが2番のkartが復帰することで被害を被った場合
3. 1番のkartまたは、その他のkartが2番のkartが復帰することで順位を下げたり、リタイアした場合

※停止しているkartやトラブルで失速したkartとの接触を避ける場合はこの限りではありません。



軽度⇒警告や白黒旗提示

悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格

または、成績に0.25～10秒加算

または、1～10ポジションダウン

R10
ジグザグ行為
および
レーンチェンジ行為

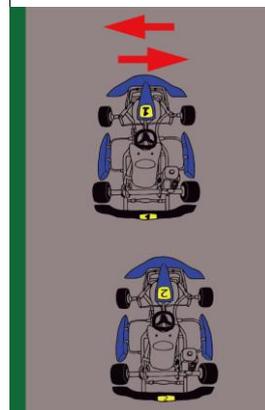
1番のkartのように直線部分でkartの幅以上に左右に蛇行することをジグザグ行為とします。2番のkartから1番のkartが離れている場合や2番のkartが追抜くことが出来たとしても適用

軽度⇒警告や白黒旗提示

されます。

特徴的な違反は以下のものです

1. 後方にあるカートの位置を確認し、わざと走行ラインをずらし蛇行することをジグザグ走行といい、故意に進路変更する行為
2. レース中のコーナー進入時や立ち上がり、直線で意図的に走行レーンを変え、後方カートの進路を妨害する走行を一般的にレーンチェンジと言ひ、レース中の悪質な走路妨害をブロック走行と呼ぶ場合もあります。



悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格

または、成績に0.25～10秒加算

または、1～10ポジションダウン

**R11
カットイン**

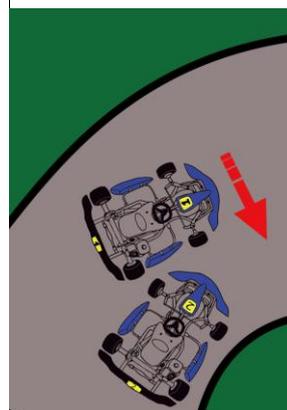
1番のカートが2番のカートの進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更することを**カットイン**とします。
これは双方のカートが接触したか否かは関係ありません。

2番のカートが1番のカートの少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。

ペナルティの判断

- 1番のカートがカットインの行為をした場合
- 2番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合
- 2番のカートがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合

※1番のカートが2番のカートの走行ラインを残し走行する場合はカットインと判断されません。



軽度⇒警告や白黒旗提示

悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格

または、成績に0.25～10秒加算

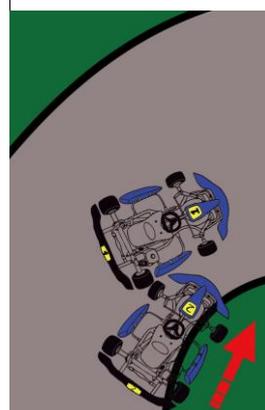
または、1～10ポジションダウン

**R12
エッジイン
無理な突っ込み**

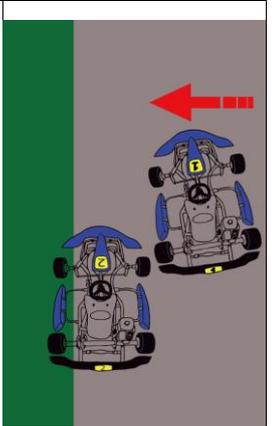
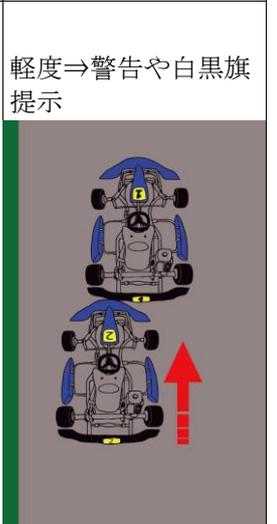
2番のカートが十分な隙間がないのに、1番のカートの内側に入っていくことを**エッジイン**とします。

※例;スタート時の混雑からの無理やりなライン取り、強引な追抜きの場合など。または適正な減速をする様子がない行為

2番のカートの多くの部分が1番のカートのイン側にある場合、または2番のカートが接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題ありません。



軽度⇒警告や白黒旗提示

	<p>ペナルティの判断</p> <p>2番のカートがエッジインの行為をした場合 2番のカートが順位を上げた場合 1番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番のカートがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合等</p>		<p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>
<p>R13 プッシュアウト 幅寄せ</p>	<p>1番のカートがラインを変更して2番のkartを完全に、または部分的にコース外に追いやることをプッシュアウトおよび幅寄せとします。これは双方のkartが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のkartが1番のkartの少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1番のkartがプッシュアウトの行為をした場合 1番のkartが順位を上げたとき 2番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番のkartがダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番のkartが危険行為と判断された場合 ※1番のkartが2番のkartの走行ライン(車体1台分が基準)を残し走行する場合はプッシュアウトと判断されません。</p>		 <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>
<p>R14 プッシング 後方からの接触</p>	<p>2番のkartのフロントが1番のkartのリア部分に接触することをプッシングとします。また、ストレート走行中やコーナリング中に前車を押し出す行為に関しても同様とします。</p> <p>下記「ペナルティの判断」を考慮した結果、2番のkartが利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティの対象となります。</p> <p><対象となりやすいエリア> コーナーへの進入区間/旋回区間などの後方からの接触が危険なエリア</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>2番のkartがプッシングの行為をした場合 2番のkartが順位を上げた場合 1番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番のkartがダメージを受け同一周回中に順位を落とすかリタイアした場合 2番のkartが危険行為と判断された場合 ※1番のkartが失速などによって起因した後部からの接触はプッシングと判断しない場合があります</p>		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p>  <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>

	ます。		
R15 危険行為	<p>下記項目を危険行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 減速をせず無理な進入速度で多重クラッシュを招く行為 2. 走行ラインを残さず危険なブロックによって相手をつぶす行為 3. コース上に停止してしまい、その後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合 4. 停止後にコース復帰する場合、後続車がいるにもかかわらずドライバーサインも出さずに後続車通過前に再スタートした場合 5. 事故停止カートやコースアウトしたカートを放置し、障害物とさせる行為 6. コース上から競技中にコースを横断したり、他者に物を投げる行為 7. コースを逆走し事故を招く行為 		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>
R16 ピットエリア違反行為 および ピットロード違反行為	<p>下記項目をピットエリア、ピットロードでの違反行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ピットエリアに入るため、ピットロードを走行中に減速しなかった場合、ピットロード徐行違反と判断されます。 2. ピットエリアに向かったが、エンジン停止をせずにコースに復帰した場合、ピットスルー危険行為と判断されます。 3. 指定ピットエリア外で作業したり、危険物を持ち込んだり、競技委員の注意を無視した行為、サインエリア外でのドライバー合図など、多くの場合がピットエリア違反行為と判断されます。 4. ピットエリアからの再スタート時、サポート区間を過ぎても登録ピットクルーがサポートを継続した場合 		<p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>
R17 グリッド違反行為	<ol style="list-style-type: none"> 1. グリッドに入ったあと工具を用いた車両整備を行った場合 2. 指定した時間内にグリッドに入らなかった場合 3. 本コース上でのスタートを待つ間、工具を用いた車両整備を行った場合 4. 赤旗中断後、競技委員から指示が出る前に工具を用いた車両整備を行った場合、ケミカルを使用したり給油を行った場合 5. レース終了後、検査を受ける前に不良箇所を修正した場合 6. グリッドからのスタート時、サポート区間を過ぎても、登録ピットクルーがサポートを継続した場合 	<p>※左記事項は、登録メカニックが行った行為でも、ドライバーに対しペナルティが課せられません。</p>	<p>基本当該ヒート失格</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウンの場合もあります</p> <p>※レース除外処置の場合もあります</p>

R18 パドック、ピットでの 暖機運転、 エンジンから吹き出し 違反行為	下記項目をパドック・ピット内で行った場合、 違反行為 とします。 <ol style="list-style-type: none"> 1. パドック内、ピット内や指定外の場所で暖機運転やエンジンから吹き出しを行った場合違反と判断されます。 2. ドライバー、ピットクルー、メカニック、参加選手の関係者等、誰でも違反行為をすれば、その参加選手にペナルティが与えられます 3. 違反行為が公式練習前に発覚した場合、次ヒートにペナルティが適用されます。次ヒートとはタイムトライアルの成績が対象です 		軽度⇒警告 悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格 または、成績に0.25～10秒加算 公式練習中に発生した違反行為の場合は、タイムトライアルの成績にタイム加算されます
R19 車載カメラに関する 違反行為	下記項目の場合、 車載カメラ違反行為 とします。 レース中、取付不具合によって車載カメラが脱落した場合		
R20 その他の競技違反	<ol style="list-style-type: none"> 1. 競技委員に申告せず、無断で計測装置やエンジンを変更した場合 2. ピット・パドックで火気を扱ったり、喫煙した場合 ※基本、火気の使用は禁止ですが、主催者に確認し、認められる暖房器具の場合は問題ありません。 喫煙場所以外、特にパドックでの歩きタバコや整備中のくわえタバコが発覚した場合、その対象ドライバー、ピットクルー、メカニックに1回目は警告、2度目の行為が発覚した場合はペナルティが入ります 3. ドライバーズブリーフィング(ミーティング)を不参加した場合 4. 黄旗が出ているにもかかわらず、速度を落とさず前方のカーとのギャップをつめる行為 5. 黄旗が出ようとしているコース状態にも関わらず、追抜きをかける行為 6. レース中、許可なく給油した場合「グリッド上、ピットエリア、他」 7. タイヤを器具や暖房機によって故意に温める行為 8. チームやドライバー間で、順位を故意にコントロールする悪質な行為 9. レース本規則や追加公式規則に関する事項を守らなかった場合 10. 新規の競技違反項目や公式通知に関する事項を守らなかった場合 		軽度⇒警告 悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示 または、成績に0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン レース中に許可なく給油した場合、当該ヒートの出走を認めない、または当該ヒート失格 悪質な場合、レース除外 タイヤを故意に温めた場合、 1. 公式練習前⇒タイムトライアルの成績抹消 2. 各ヒート前⇒当該ヒートの出走を認めない 軽度⇒重警告 悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示 または、成績に0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン
R21 ドライバーモラル 暴力行為等	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドライバーサインを出さない場合 2. 競技役員、コース委員・オフィシャルからの指示を無視した場合 3. 走行中に、競技相手を挑発したり威嚇する行為をした場合 		軽度⇒重警告 悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示 または、成績に0.25

	<ol style="list-style-type: none"> 4. 競技会場での言葉による脅しや侮辱、中傷、威圧、暴力行為をした場合 5. パドックでの常識外の場所取りや禁止区画への車両の乗り入れ 6. 競技の裁定や運営に対し、理由も聞かず競技関係者に怒鳴り込んできたり、威圧したり、暴言を吐くドライバーやエントラント、メカニックの行為 7. 競技規則を読まない、理解しないで競技委員にクレームを入れる行為 8. 工具やケミカル用品を持って走行した場合 		<p>～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p>
--	---	--	---------------------------------------

R22 走路妨害	<p>公式練習やタイムトライアル中、自分の位置取りのため、走行ライン上でドライバーサインを出さず減速や加速行為、走行ライン交差を繰り返す危険な走行をし、後方からの衝突を招く行為に対し審議されます。</p> <p>また、すでにタイムアタック走行に入っているカーの走路妨害行為に当たる走行は厳しく審議されます。</p>		<p>軽度⇒警告</p> <p>TT中の違反に対して、ベストタイム(1～3)</p> <p>成績の抹消</p> <p>または、TT成績に0.25秒～1秒加算</p>
--------------------	---	--	--

R23 フロントフェアリングペナルティ	<p>指定装着のフロントフェアリングが接触やその他の理由によって正規な位置よりずれた場合、理由に関わらず規定のタイム加算ペナルティとなります。</p> <p>また、起因の内容によっては追加のタイム加算ペナルティ入ります。</p> <p>※フェアリング本体への加工、改造なども含みませ(車検長判断)</p>	<p>TT中の違反に対して、ベストタイム(1～3)成績の抹消の場合もあり</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通常違反に対して、成績に5秒加算 2. 追加違反に対して、成績に1～10秒加算 3. 当該ヒート失格
-------------------------------	--	--	---

抗議	<p>競技判定に関する抗議は、ヒート終了後30分以内までとします。</p>		<p>抗議料 ¥22,000-</p>
----	---------------------------------------	--	---------------------

以上、R1からR23までのペナルティジャッジは目安ですので、記載されていない行為でも大会競技委員やスタッフ・ジャッジによる審議の判定審査によりペナルティとなる場合があります。また、競技役員やレース大会の格式によって表記のペナルティとは違う判定の場合もあります。

【ご注意】判定は競技規則の改定などにより毎年変更されることがあります。

2025年1月14日改定

- ※1 レース競技状況により、ペナルティの判定が遅れ、ヒート終了直後にリザルトを発表出来ない場合があります。
- ※2 暫定結果から正式結果を決定する際、ペナルティの判定等によって成績が変動する場合があります。

ペナルティ一覧作成の主旨

競技の安全と参加者の信頼を得る運営進行を最優先と考え、ドライバー・エントラント・主催者・オフィシャルすべてがスポーツマンシップを持ち、本大会へ挑むことがポリシーと考えています。大会に関連する参加者すべてのマナー向上と安全で公平なレース運営を目指します。